

## 第6回 茨城大学教職大学院教育実践フォーラム 実施報告

今年度の教育実践フォーラムは、2023年3月4日（土）に開催致しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年に引き続いてのオンライン開催となりました。

今回の教育実践フォーラムは、6コース制への改組後、すべてのコースで2年次生を送り出す初年度に当たります。学校運営コース、教育方法開発コース、児童生徒支援コース、教科領域コース、特別支援科学コース、養護科学コースの各院生が一堂に会して日頃の学びの成果を報告する機会を設けられましたこと、大変喜ばしく思います。

さて、今回のフォーラムも全国各地から多くの方々がお申込くださいました。参加申込者数の規模は過去最大で、茨城県内はもとより北海道、東京都、兵庫県など様々な地域の方々にご参加いただけました。本専攻の教員・院生を含めて260余名を数える盛大なフォーラムとなりましたこと、感謝に堪えません。

前半の全体会では、野崎英明（茨城大学大学院教育学研究科長）によるご挨拶及び本フォーラム全体のご紹介のあと、本研究科の目玉の一つである学外機関との連携について、「社会に開かれた教育課程の実現にむけて一教職大学院での取り組みをとおして一」というテーマの下に報告致しました。中でも、茨城県立歴史館管理部教育普及課長の山下尚美様に行っていただいたご講演（「茨城県立歴史館の教育的役割—地域・学校との連携—」）や同施設における実習の振り返りに対する総評、さらには質疑応答の場は貴重な学びの機会となりました。本学の実習の取り組みについてのみならず、広く学校教育と社会教育施設との連携の在り方に関しても今後を展望する機会をいただけましたこと、改めて山下様にご感謝申し上げます。

最後に行われた勝二博亮（教育実践高度化専攻長）の全体会総括にありましたように、今後もしっかり現場を意識した学びを大切に、毎年度ブラッシュアップしていければと考えております。

続く分科会（研究成果発表会）では、各コースの特性に基づく形で、院生による報告が行われました。各会場において、参加された方々と「教育とは」「子どもとは」といった様々なテーマから学校教育の在り方を模索・追求する協議ができましたことは、「理論と実践の往還」「誰も置き去りにしない」といった本研究科の理念の重要性を改めて認識する貴重な機会となりました。

最後になりますが、各院生に実習の機会をお与えくださった実習校及び関係機関の方々、また後援いただいた茨城県教育委員会、水戸市、大洗町、東海村各教育委員会、茨城県学校長会、茨城県教育研究会の皆様方に感謝申し上げます。今後とも変わらぬお引き立てのほどお願い申し上げます。

### ■全体会 13:00～14:20

- ・大学院教育学研究科長あいさつ (大学院教育学研究科長 野崎英明)
- ・企画主旨説明 (教科領域コース 小林英美)
- ・茨城県立歴史館の教育的役割  
- 地域・学校との連携 - (茨城県立歴史館管理部教育普及課長 山下尚美)
- ・茨城県立歴史館を活用した教職大学院での実習 (教科領域コース 荻原文弘)
- ・実習をふりかえって (教職大学院生)
- ・歴史館からの実習の総評 (茨城県立歴史館管理部教育普及課長 山下尚美)
- ・全体会総括 (教育実践高度化専攻長 勝二博亮)

### ■分科会（研究成果発表会） 14:20～17:00

学校運営コース／教育方法開発コース／児童生徒支援コース／教科領域コース／特別支援科学コース／養護科学コース

（報告：教育方法開発コース 宮本浩紀）